

配当金のお支払いについて

支払期間経過後の配当金のお受け取り方法に関するお問い合わせは、右記のお問い合わせ先にお申し出ください。まだお受け取りいただいていない配当金につきましては、支払開始日から3年以内であればお支払いいたします。

単元未満株式の買取・買増請求について

当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満株式（1～99株）については、市場での売買はできませんが、当社に対して買取請求（売却）または100株（1単元）となるよう買増請求（購入）をすることができます。お手続きの方法および用紙のご請求は右記のお問い合わせ先にお申し出ください。

株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、①証券会社の口座に記録されている場合と、②特別口座に記録されている場合で異なりますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。

| ① 証券会社の口座に記録された株式 | | |
|--|----------------|---|
| お手続き、ご照会の内容 | お問い合わせ先 | |
| 単元未満株式の買取・買増請求 届出住所・姓名などのご変更 配当金の受領方法・振込先のご変更 | 口座を開設されている証券会社 | |
| 郵送物の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ | 株主名簿 管理人名簿 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル) |

| ② 特別口座に記録された株式 | | |
|---|-------------------|---|
| お手続き、ご照会の内容 | お問い合わせ先 | |
| 単元未満株式の買取・買増請求 特別口座から証券口座への振替請求 届出住所・姓名などのご変更 配当金の受領方法・振込先のご変更 | 特別口座の管理機能 に関する | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル) |
| 郵送物の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ | 株主名簿 管理人名簿 | |



第66期 年次報告書

2017年1月1日 ※ 2017年12月31日

HIOKI

To Our Shareholders

株主の皆様へ

中期重点方針“Revolution（変革）” に邁進していきます。

代表取締役社長 細谷 和俊
Kazutoshi Hosoya



Top Interview

第66期決算の概要をお聞かせください。

当期は、外部環境と国内外における取り組みにより、過去最高の売上高を達成できました。

国内市場では、当社の主要顧客である自動車および電子部品業界の設備投資が堅調に推移し、海外市場でも中国を中心としたアジア地域の設備投資が好調に推移しました。スマートフォンに代表される携帯端末の高度化や自動車業界の電気自動車への転換、自動制御の導入が進み、これらに必要な電子部品、バッテリーおよびモーターなどの生産ラインの拡充や研究開発が活発になっていることから、この分野における当社計測器の販売は好調に推移しました。

開発面では、当社の主力製品であるメモリハイコーダのフラッグシップモデルや世界初のAC非接触電圧プローブの発売など、お客様に新しい価値を提供する新製品を市場に投入するとともに、将来に向けた要素技術開発を進めました。

また、販売面では、6月にドイツに販売子会社を設立し、世界中のお客様に商品をお届けする体制を強化しました。

2018年の取り組み、見通しについてお聞かせください。

自動車、エネルギー、電子部品といった成長市場では技術革新が進み、より精度の高い計測やデータ分析が不可欠となることが予想されます。こうした市場に向けて、独自のセンシング技術をより高めるとともに、培ってきました計測技術を組み合わせ、お客様の進化にタイムリーに対応できる計測器を開発していきます。また、生産性の向上など体質強化の取り組みを進めるとともに、HIOKIブランドの浸透と顧客密着営業の展開により、売上高を伸長させることで適正な利益を確保していきます。

2018年は、2020年までのHIOKIグループ中期重点方針“Revolution（変革）”の開始年にあたります。変化し続ける世の中に柔軟に対応し、社員一人ひとりが変革し続けることで「永続企業として継続的成長発展する会社」を目指していきます。

2018年12月期連結業績予想

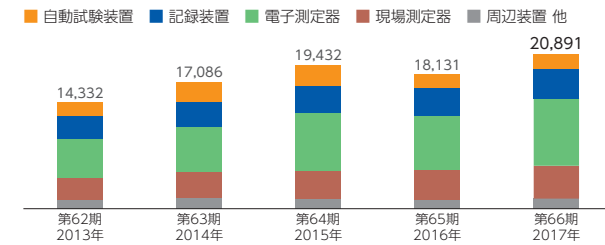
| | | |
|---------------------|-----------|-----------|
| 売上高 | 22,100百万円 | 前期比 5.8%増 |
| 営業利益 | 2,820百万円 | 前期比12.7%増 |
| 経常利益 | 3,000百万円 | 前期比14.0%増 |
| 親会社株主に 帰属する当期純利益 | 2,200百万円 | 前期比10.1%増 |

決算ハイライト

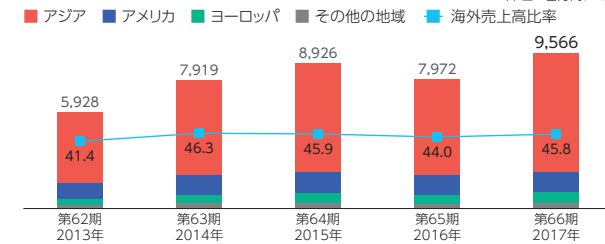
● 売上高

20,891百万円(前期比 15.2%増)

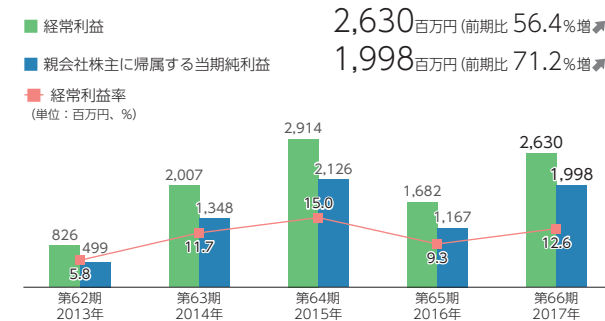
製品別売上高



海外売上高

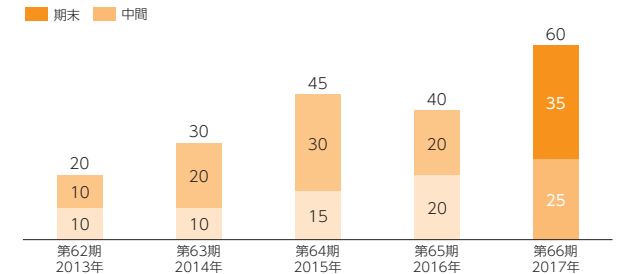


● 経常利益／親会社株主に帰属する当期純利益



本年次報告書中に記載の金額および株式数は、表示単位未満は切捨て、比率は四捨五入により表示しております。

1株当たりの配当金の推移 (単位: 円)



利益還元方針など、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

当社は、適正な利益を確保し、株主様はもとより社会へ還元することを経営方針に定め、重要な課題として位置づけております。

当期においては、株主の皆様への公平な利益還元のあり方という観点から、配当による利益還元を行うことがより適切であると判断し、2004年から続いた株主優待制度を廃止させていただくことといたしました。これに伴い、利益配分についても変更し、1株当たり年間20円の配当を安定的利益還元のベースとして、連結配当性向を従来の30%から40%を目処とする方針としました。当期の1株当たりの配当金につきましては、中間配当金25円に期末配当金35円を加えた60円とさせていただきます。

今後も、企業価値の向上に取り組み、業績向上による一層の利益還元を実施していきます。株主の皆様におかれましては、今後も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

グローバル化への取り組み 中国市場の深耕

当社は現在、海外売上高比率50%を目指して、世界各地で事業のグローバル化を進めています。そのなかで、2017年の中国における売上高は34億8千万円となり、全体の売上高に占める割合は年々高まっています。当社の中国市場における取り組みをご紹介します。

中国市場への進出

中国市場に対しては1984年、電気計測器の輸出を開始し、2001年に上海駐在員事務所を開設しました。成長著しい中国市場への販売を加速させるため、2007年に日置（上海）商貿有限公司（以下、日置上海）を設立しました。現在、中国全土に11拠点を置き、70名を超える社員が働いています。各営業拠点の営業員は現地のお客様を直接訪問し、当社製品のPRを積極的に行っています。

日置上海では組織体系の整備を進めており、社員と代理店への研修や市場調査を担う技術部、HIOKIブランド浸透のための各種プロモーション活動を担う営業企画部を設置しました。また、現地社員がモチベーションを持って働けるよう同社独自の人事制度の整備も進めてきました。

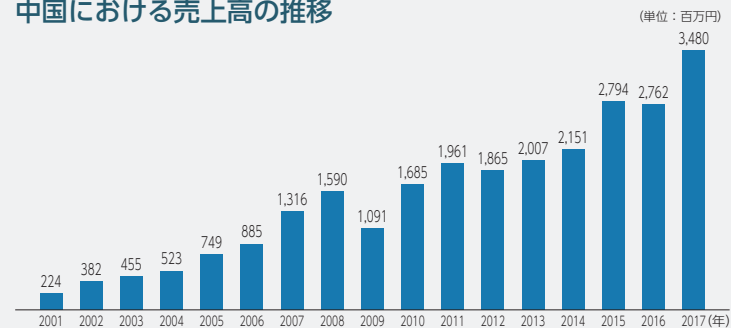
このような活動により、中国における売上高は日置上海設立以降、大きく伸長しています。



日置上海拠点網

■ 分公司 ● 連絡事務所

中国における売上高の推移



日置上海による展示会

電気自動車市場の拡大

中国では、携帯電話や自動車向けのバッテリー市場やインフラ市場、新エネルギー市場などが活況です。なかでも今後期待されるのが、電気自動車（EV）やプラグインハイブリッド車（PHV）などの自動車市場です。

昨年9月、中国政府はEVやPHVの普及を加速させるための政策を発表しました。これにより、自動車市場やその関連市場に大きな変化が予測されます。当社はEVやPHVの開発、生産、メンテナンス向けの計測器を多数扱っており、拡大への期待が高まるこれらの市場に向けて積極的な拡販に取り組んでいきます。



<現地での販売増が期待される計測器>



パワーアナライザ PW6001
モーター、インバータの性能評価、
ワイヤレス給電の評価



バッテリーテスタ BT356Xシリーズ
バッテリーセルおよびモジュールの出荷検査



バッテリーインピーダンスメータ BT4560
バッテリーの性能評価、出荷検査



絶縁抵抗試験機 ST5520
バッテリーの性能、安全検査



AC非接触電圧プローブ SP3000
ワイヤーハーネスの電圧信号測定



メモリハイコーダ MR6000
インバータの性能試験、電子制御
ユニットの信号記録



WPT評価システム TS2400
ワイヤレス給電の効率評価

日置上海10周年

2017年、日置上海が設立10周年を迎えました。これを記念し、昨年8月に上海で日置上海10周年記念式典を開催しました。式典は、代理店や取引先の皆様、日置上海社員の計180名が出席しての開催となりました。これまでの10年の歩みを振り返り、支えてくださった方々に感謝し、今後の事業の発展を誓う場となりました。

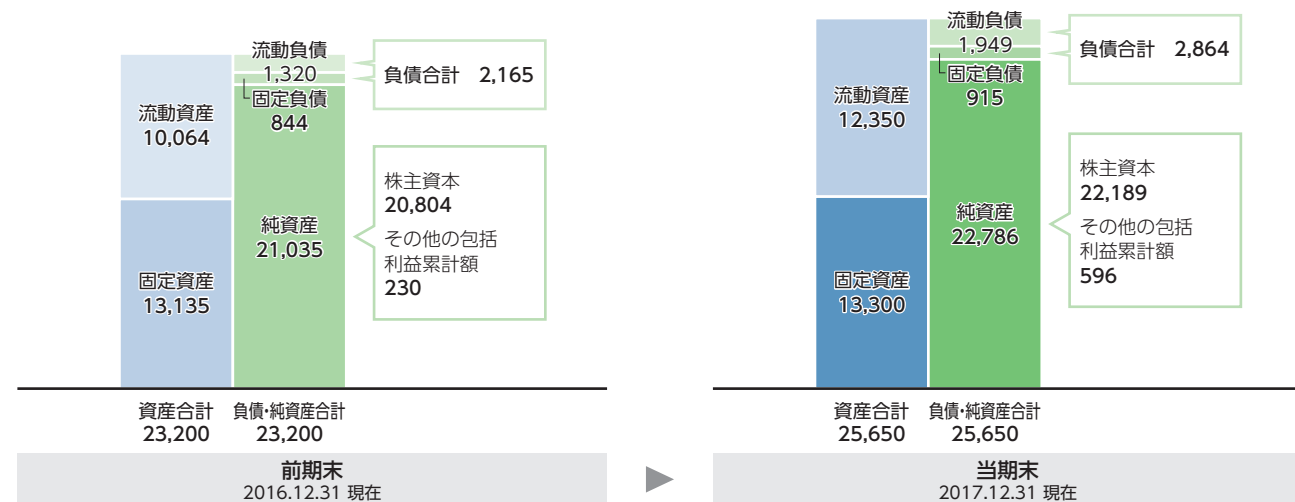


Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

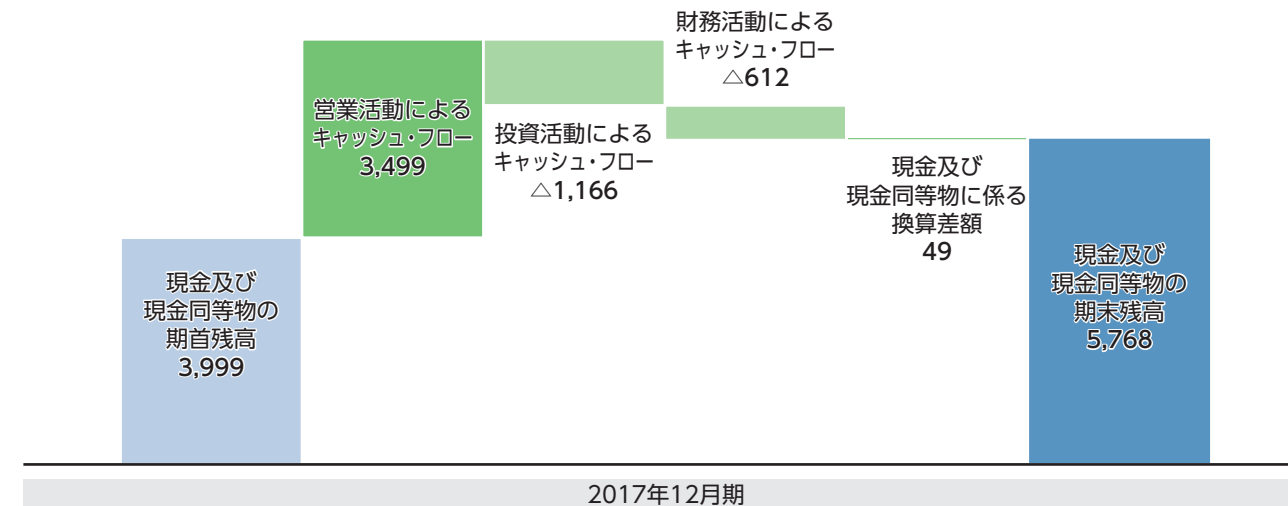
連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



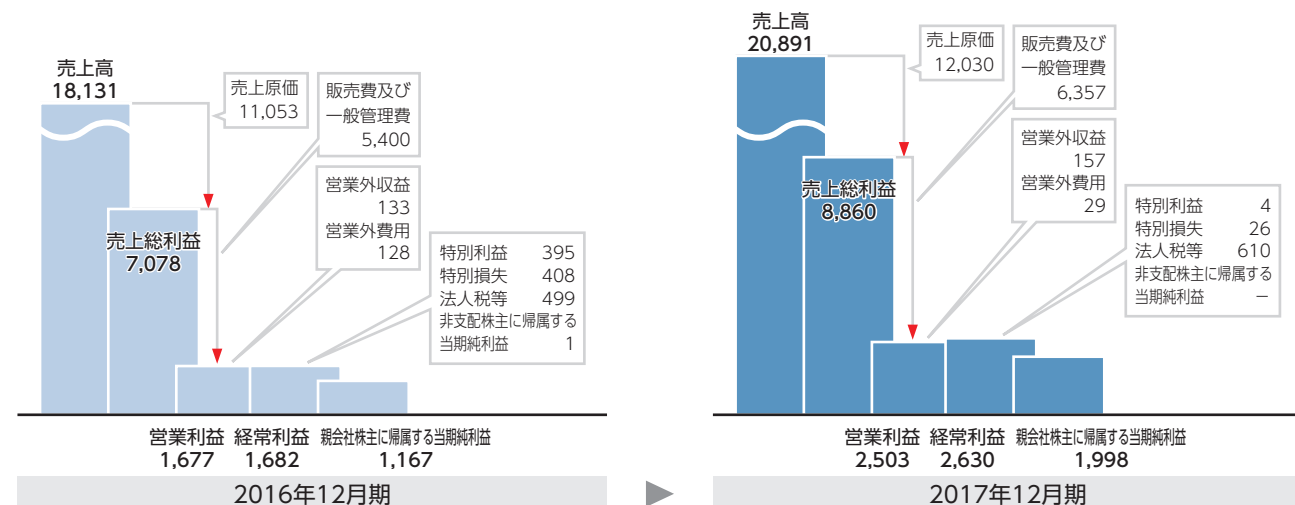
連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)



連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



財務のポイント

● 資産、負債および純資産の状況

当連結会計年度末における総資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金、投資有価証券が増加したため、前連結会計年度末と比較して24億50百万円増加し、256億50百万円になりました。

負債は、未払法人税等が増加したため、前連結会計年度末と比較して6億99百万円増加し、28億64百万円になりました。

純資産は、利益剰余金が増加したため、前連結会計年度末と比較して17億50百万円増加し、227億86百万円になりました。

● キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して17億69百万円増加し、57億68百万円になりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、34億99百万円の収入になりました。主な増加要因は、税金等調整前当期純利益26億9百万円および減価償却費12億39百万円でありました。主な減少要因は、売上債権の増加額2億97百万円および法人税等の支払額4億20百万円でありました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により、11億66百万円の支出になりました。

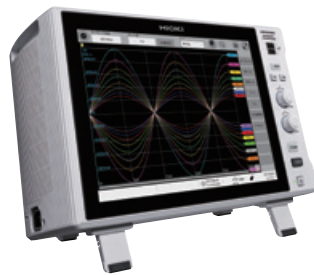
財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額等により、6億12百万円の支出になりました。

Topics

トピックス

01 TOPICS メモリハイコーダのフラッグシップモデル MR6000を発売

10月に発売しましたメモリハイコーダMR6000は、従来比10倍の200Mサンプリング/秒の高速測定と同32倍の高速リアルタイムデータ保存を実現したフラッグシップモデルです。高速測定・高速リアルタイム保存により、お客様の測定効率が飛躍的に向上します。さらに急速に進化する自動車などの電子化や、電子機器の高速化、高電圧化に対応し、同時多チャンネルの絶縁測定により安全で信頼性の高い計測を実現しています。メモリハイコーダは、1983年に当社が世界に先駆けて開発して以降、ラインナップを拡充しながら、現在も主要製品の1つとして当社の売上を牽引しています。



メモリハイコーダMR6000

02 TOPICS 米国子会社の支店開設

10月に、販売子会社HIOKI USA CORPORATIONの支店として、アメリカ西海岸にHIOKI USA CORPORATION Western Regional Officeを開設しました。同地域は、シリコンバレーを代表する最先端技術、情報の集積地であり、さらなる販売網の整備が必要なエリアです。この地域には、バッテリー、電気自動車（EV）などの市場があり、バッテリーテスタや電力計など多くの当社製品の使用が期待されます。Western Regional Officeを起点に、よりお客様に密着した販売活動を展開していきます。



Western Regional Officeが入居するビル

03 TOPICS 「宇宙子どもワークショップ2017 in上田」を開催

9月16日～18日に、公益財団法人日本宇宙少年団（YAC、理事長：松本零士氏）が主催し、当社が共催する「宇宙子どもワークショップ2017 in上田」を、HIOKIフォレストヒルズで開催しました。メインイベントの「日本水ロケットコンテスト」は、ペットボトルロケットをいかに定点近くに落とすかを競う全国大会です。子どもたちが工夫を凝らしたロケットが一斉に発射されるたびに、大きな歓声が上がっていました。このほか、5つのワークショップや、宇宙航空研究開発機構（JAXA）講師による基調講演が開催されました。期間中、北は北海道、南は鹿児島から、全国のYAC団員や当社近隣の方々を含め、延べ563名の来場者をお迎えし、イベントを楽しんでいただきました。



「日本水ロケットコンテスト」開会式



水ロケット発射！

Business Outline

事業領域

当社は、電気計測器の開発、生産、販売・サービスを一貫して行う研究開発型企业です。

当社の製品は、自動車、電子部品、環境・新エネルギー、インフラなどの産業分野で、最先端の研究開発から、生産ライン、電気工事の現場まで、幅広いお客様にご使用いただいています。

本社工場のあるHIOKIフォレストヒルズにすべての機能が集結し、開発、生産、販売・サービスが三位一体となり、お客様の様々な要望に迅速にお応えしています。

当社の製品は60か国以上に輸出され、海外売上高比率は45.8%を占めており、早期に50%を超えるべく、さらなるグローバル化を進めていきます。



HIOKIフォレストヒルズ

4つの製品群で研究開発から保守サービスまで対応

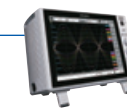
自動試験装置：電子回路基板や部品内蔵基板の検査

スマートフォンやパソコンなどに使われる電子回路基板、部品実装基板の良否を検査する装置です。



記録装置：電気機器の開発や設備の異常監視

電気信号の時間的な変化を記録・解析する装置です。自動車・家電の開発から設備機器の保全まで、幅広い用途で利用されています。



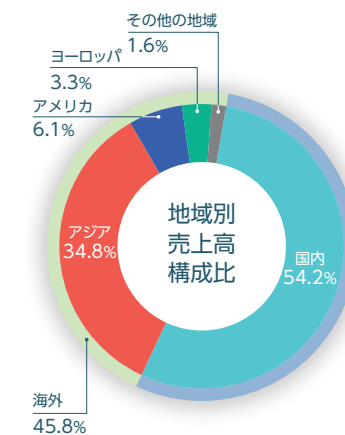
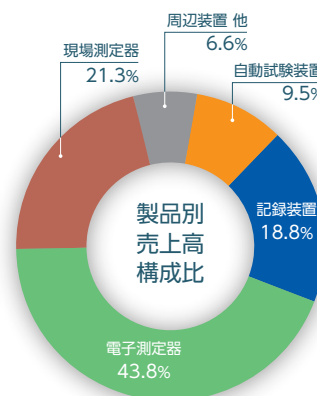
電子測定器：電子部品の検査や省エネ監視

電子部品やデバイスの品質を評価・検査する計測器、および電力変換デバイスや電源品質の評価に欠かせない各種電力計をラインナップしています。



現場測定器：電気工事・設備の保守点検

電気工事や設備の保守点検、および温度・照度・騒音などの環境測定にも利用されています。



Corporate Profile

会社概要/役員 (2018年2月27日現在)

会社概要

| | |
|-------|--|
| 商号 | 日置電機株式会社 |
| 英文商号 | HIOKI E. E. CORPORATION |
| 創業 | 1935年(昭和10年)6月 |
| 設立 | 1952年(昭和27年)1月 |
| 商標 | HIOKI |
| 資本金 | 32億9,946万円 |
| 社員数 | 841名(2017年12月31日現在、HIOKIグループ全体) |
| 事業内容 | 電気計測器の開発、生産、販売・サービス |
| 本社・工場 | 長野県上田市小泉81 |
| 連結子会社 | 日置フォレストプラザ(株) HIOKI USA CORPORATION 日置(上海)商貿有限公司 HIOKI SINGAPORE PTE. LTD. HIOKI KOREA CO., LTD. HIOKI INDIA ENGINEERING PRIVATE LIMITED HIOKI EUROPE GmbH |

役員

取締役

| | |
|---------|--------|
| 代表取締役社長 | 細谷 和俊 |
| 取締役 | 岡澤 尊宏 |
| 取締役 | 巢山 芳計 |
| 取締役 | 水野 厚 |
| 取締役 | 久保田 訓久 |
| 社外取締役 | 中谷 朔三 |
| 社外取締役 | 田中 茂 |

監査役

| | |
|-------|-------|
| 常勤監査役 | 竹内 繁弘 |
| 常勤監査役 | 高木 正行 |
| 社外監査役 | 小川 直樹 |
| 社外監査役 | 弓場 法 |

当社ホームページのご案内

当社ホームページでは、最新のニュースリリース、IR情報、製品情報、CSR・環境活動への取り組みなどをご覧いただけます。



アドレスはこちら

<https://www.hioki.co.jp/>

株主構成の変動について

当期は日置電機社員持株会が持株比率を大きく伸ばし筆頭株主になりました。これは当社が持株奨励金の付与により積極的に社員の将来の資産形成を図るとともに、社員が経営参画意識を持ち、会社の成長を維持していこうとする取り組みの結果でもあります。また、大株主（創業家）から公益財団法人HIOKI奨学・緑化基金へ当社株式の寄付が行われました。これにより同基金は、奨学金給付による人材育成、地域社会の緑化・環境保全といった活動をより一層強化継続していく方針です。

Stock Information

株式の状況 (2017年12月31日現在)

株式の状況

| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 40,514,000株 |
| 発行済株式の総数 | 14,024,365株 |
| 株主数 | 11,163名 |

大株主

| 株主名 | 持株数 (千株) | 持株比率 (%) |
|---------------------------|-------------|-------------|
| 日置電機社員持株会 | 838 | 6.15 |
| 日置恒明 | 800 | 5.87 |
| 日置勇二 | 719 | 5.28 |
| 株式会社八十二銀行 | 666 | 4.89 |
| 日置妙子 | 583 | 4.28 |
| 明治安田生命保険相互会社 | 510 | 3.75 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 377 | 2.77 |
| 日置秀雄 | 352 | 2.58 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 306 | 2.25 |
| 公益財団法人HIOKI奨学・緑化基金 | 300 | 2.20 |

(注) 1. 当社は自己株式を397千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

| | |
|------------------|---|
| 事業年度 | 毎年1月1日から12月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年2月 |
| 期末配当金受領 株主確定日 | 毎年12月31日 (中間配当金を支払う場合は、毎年6月30日) |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主名簿管理人 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 特別口座の 口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| お問い合わせ先 | 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル) |
| 郵送先 | 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 |
| 公告方法 | 日本経済新聞 なお、貸借対照表および損益計算書を当社のホームページ (https://www.hioki.co.jp/jp/ir/) に掲載しておりますので、ご参照ください。 |
| 上場市場 | 東京証券取引所第一部(証券コード 6866) |

※株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関の事務拠点の移転に伴い、2017年8月14日付にて上記のとおり変更しております。

